

(様式2)

農業の新しい技術

No. 718(令和元年(2019年)5月)
分類コード 01-14
熊本県農林水産部

黒毛和種種雄牛「久茂国」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室
担当者：眞鍋由希

研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

研究の成果

1. 脂肪交雑及びロース芯面積に優れた黒毛和種種雄牛「久茂国」を選抜した。

血統

父 安福久 (黒原 4416)	祖父 安福165の9 (黒原 1683)	— 安福(岐阜)(黒育 180)
	祖母 もとじろう(黒 1868119)	— 紋次郎(黒高 938)
母 ゆりえ (黒原 1367824)	祖父 百合茂(黒原 4086)	— 平茂勝(黒原 2441)
	祖母 ふきこ(黒 2015232)	— 北国7の8(黒原 1530)

登録番号：黒15105

生年月日：平成25年6月18日

生産地：球磨郡あさぎり町(愛甲明生)

2. 現場後代検定成績および育種価

脂肪交雑は去勢7.27、雌7.11となり全体平均でも7.13と歴代最高の成績となっている。育種価も+2.356(評価種雄牛2,559頭中24位)と極めて高く、優れた能力を有すると推測される。

ロース芯面積は去勢61.7cm²、雌61.4cm²と優れており、育種価も19.58cm²(評価種雄牛2,559頭中35位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

SBVは枝肉重量0.70、脂肪交雑2.41、ロース芯面積2.49、バラの厚さ0.66、皮下脂肪の厚さ1.22と多くの項目について改良効果が大いいと推定される。

SBV(標準化育種価)は、育種価評価値をわかりやすくするために標準化したもの。値が1以上の場合、改良効果が高いことを示す。

3. 特徴

脂肪交雑が歴代最高の成績であることから、肉質の改良に貢献することが期待される。

[具体的データ]

熊本県農林水産部



久茂国 (ひさしげくに)



格付け:A-5 枝重:470.0kg
BMS No.:11 ロース:85cm²
ばら 8.4cm 母の父:安茂勝

表1 現場後代検定成績

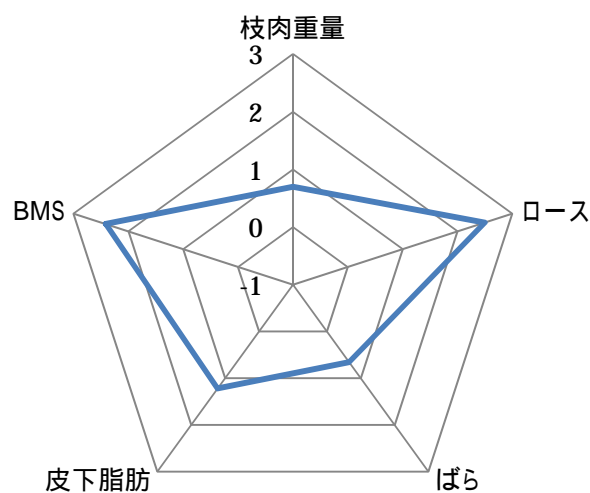
区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm ²)	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	6	480.1	7.27	61.7	7.9	2.7	554.3
雌	18	427.5	7.11	61.4	7.5	2.6	490.0
全体	24	440.7	7.13	61.5	7.6	2.6	506.1

表2 育種価(BV) (H31.1 評価)

	順位	育種価	正確度
枝肉重量	593	39.416	0.916
脂肪交雑 (BMS No.)	24	2.356	0.922
ロース芯面積	35	19.580	0.911
ばらの厚さ	630	0.624	0.895
皮下脂肪の厚さ	285	-0.779	0.916

後代頭数 26頭(フィールド成績を含む)

順位は評価種雄牛2,559頭中の順位



形質ごとに比較でき、わかりやすくするために標準化したもの
皮下脂肪は逆符号

図1 SBV (標準化育種価)